

2018 年度夏季海外研修（韓国語・韓国文化コース）研修レポート

社会福祉学部 Nさん

私は9月2日から9月22日の3週間、2018年度岩手県立大学夏季海外研修「韓国語・韓国文化コース」に参加しました。

<クラス分けテスト>

韓国語のレベルテストは、筆記と面接の2種類を受けました。筆記は、6項目の題材の中から一つ選択したものについて自由記述するというものでした。文字数が指定されており、初級の項目でも200~300字という量に少し焦りました。面接は一对一の質疑応答でしたが、先生が優しく、面接というよりは対話といった雰囲気でした。私は自分の名前、昨日何を食べた物、時間、趣味について聞かれました。

<授業>

テストで振り分けられたクラスは台湾人と日本人の12人でした。ほとんどが日本人で、東京、静岡、京都、福岡と各地から参加している人がいました。韓国語の授業は1コマ50分で、1日4コマありました。韓国語の文法・リスニング・スピーキングの教科書に沿って行われました。また、午後に文化特攻の授業がある日は、韓国の音楽・ドラマ・礼儀作法・伝統的な遊びを授業で楽しく学びました。

<現地学習>

週に一回、丸一日ソウルの有名な観光地に行く現地学習の日があります。今回の研修では、Nソウルタワー、国立中央博物館、ロッテアクアリウム、ロッテワールドへ行きました。座学の語学授業だけでなく、現地学習で実際に赴いて、韓国にこんな場所があるのだということを知ることができ、特に博物館では文化を理解する貴重な経験ができました。

<トウミ>

今回のプログラムではトウミの募集人数が少なく、学生5・6人に対してトウミが1人で、お話しできる機会が一度きりでした。同年代の現地人と話ができるのは貴重な体験だっただけに、もっと話がしたいと少し心残りでしたが、名前の由来を紹介しあったり、オススメのカフェや観光地をトウミに教えてもらったりして、楽しくコミュニケーションをとることができました。

<自由時間>

授業がない休日にソウルの有名な街や観光地に出て、観光やショッピングを楽しみました。韓国の伝統的な衣装を着てキョンボクンに行ったり、ハンガンでチキンを宅配して食べたりと、韓国でしかできない体験をたくさんしました。また、大学の授業の後の少しの時間にも、フェギにあるアクセサリー屋やカフェなどを探し回り、思い出深い休日と放課後を過ごすことができました。ソウルには魅力的な観光地や店がたくさんあり、時間が足りない

くらい充実していたので、ぜひまた訪れたいと思いました。

<まとめ>

今回、私は個人で参加しましたが、県大から行ったメンバーはみんな個人での参加でした。韓国に行ってからは、クラスで仲良くなった友達と毎日一緒に遊びに出かけていました。はじめは一人で不安だったけど、同じ興味を持った友達もでき、語学授業・生活ともに濃い3週間を過ごすことができたと感じました。今回の研修で、自分の語学力・行動力共に向上させることができ、貴重な体験になりました。

私は、9月2日から9月22日の3週間、韓国のソウル市にあるキョンヒ大学で研修をしてきました。

<参加理由>

私は以前からK-POPや韓国料理が好きで、いつか韓国に行ってみたいと思っていました。また、今まで海外に行ったことがなく、さらに3週間もの間外国に滞在するというのはなかなか出来ない体験だと思い、今回の研修に参加しました。

<授業について>

授業は、毎週月曜日から金曜日まで1コマ50分の授業でした。午前中は韓国語の勉強をしました。初日のクラス分けテストで配属されたクラスで授業を受けました。授業はすべて韓国語で行われ、私は簡単な単語しかわからなかったのも、最初は先生が何を言っているのか全くわからなくて苦勞しました。しかし、だんだん耳が慣れてきて少しずつ聞き取れるようになり、最後の方はほとんど理解できるようになりました。先生も簡単な韓国語を使って話してくれるのでわかりやすかったです。

また週に1~2回、午後は文化特講がありました。文化特講では、ドラマ、歌、遊び、礼儀作法について学びました。ドラマや歌は、韓国で今流行っているものに親しみました。遊びや礼儀は実際に体験しながらの授業だったので楽しかったです。

<現地学習>

週に1回、韓国の有名な観光地に行く日がありました。私たちは、Nソウルタワー、国立博物館、水族館、ロッテワールドに行きました。特にロッテワールドは特に行ってみたく思っていたのですごく楽しかったです。しかし、午後しか遊べなかったのもという間に終わってしまいました。

また、お昼には本場の韓国料理を食べました。やはり日本の店を出している韓国料理よりも本場の韓国料理の方が美味しかったです。全体的に辛めの料理が多かったです。

<自由時間>

放課後や休日は時間があつたので、いろんな所に出かけました。韓国の地下鉄は安かつたので、毎日のように地下鉄に乗って遊びに行っていました。

休日は自由な時間があつたので、景福宮や漢江などの少し遠いところにも行きました。放課後はよく大学周辺で遊んだりご飯を食べていました。大学周辺でもお店や飲食店がたくさんあつて、それなりに賑わっていて良い雰囲気でした。

<現地の生活>

韓国にいる間は寄宿舍で暮らしていました。寄宿舍は2人1部屋で原則同じ大学の人と同部屋でした。トイレとシャワーは同じ部屋にありましたが、仕切りがあつたのであまり不便ではありませんでした。キッチンもありましたが、調理器具や食器がなかつたので少し不便でした。また、宿舍のすぐ近くのダイソーで必要なものはほとんど手に入つたので、日本

から荷物をたくさん持っていく必要はなかったなと思いました。

食べ物は全体的に辛い物が多かったです。現地の人と言う「少し辛い」は日本人にとっては「すごく辛い」食べ物なので用心して食べていました。それでも、研修の終わりごろになると、慣れてきて辛さをあまり感じなくなりました。

<研修を終えてみて>

研修に行く前は不安なこともたくさんありましたが、帰ってきてからは満足感でいっぱいでした。韓国に着いて最初の数日間は、どこに行っても聞き慣れない韓国語が聞こえてくるのがストレスだったり、文化の違いに戸惑ったりもしましたが、今考えれば良い経験だったと思います。様々なことを経験することができて本当に楽しかったです。

1、キョンヒ大学

入校式の日に行われたクラス分けテストの結果が、翌日に発表される。そこで指定された教科書を購入し、指定された教室へ行き、授業が始まる。3週間、同じ教室へ行き、2人の先生の授業を1日4コマ（+文化特攻の授業の日もある）受ける。先生方は、明るく優しい。私のクラスの先生は、2人とも日本語が話せる方だったので安心して過ごすことができた。クラスメイトは、12人でそのうち11人が日本人だった。最終日には、全員と仲良くなることができた。韓国語の授業は、「わからないなあ、」と思うことも何度かあったが、楽しく受けることができた。3週間目には、先生の話していることがほとんど理解できるようになっていて嬉しかった。期間中、2度行われた現地学習では、クラスの友達だけでなく、ほかのクラスの友達とも一緒にロッテワールドや水族館、博物館を楽しんだ。大学の敷地内に急な坂が多くて辛かったが、建物が荘厳で素敵だったので目は楽しめる。

2、食事

学校のある日は、ほとんど毎日、寮から学校までの道にあるワッフル屋さんかパン屋さんで朝食を購入していた。お昼ご飯は、学校の近くのお店やカフェで済ませたりしていた。すごく辛いものが多いというイメージだったが、辛くて食べられないものはなく、留学中に食べたものは全部おいしく食べることができた。特に、カフェの飲み物やスイーツはとてかわいくて美味しかった。

3、遊び

学校がある日もない日も、ほとんど毎日、電車に乗って遊びに行った。3週間毎日出かけたので、ソウルの観光本に載っている場所にはすべて行けたと思う。特に、梨大と弘大はおすすめで何度も行った。韓国は、お洋服がとても安く購入できるのでショッピングがとても楽しかった。また、路上でパフォーマンスをしている若者がたくさんいるので、それを見るだけでも楽しめた。

4、その他

寮は、同じ大学の子と2人部屋だった。駅の隣だったので音が少し気になるが、それ以外に不満に感じることはなく、快適に過ごすことができた。韓国の街は、東京と大差はなく、治安の悪さは一切感じずに過ごすことができた。わたしは、韓国語がほとんど分からなかったが、困ることはほとんどなく、3週間、快適に、楽しく、充実して過ごすことができた。

私は2018年度岩手県立大学夏季海外研修「韓国語・韓国文化コース」に参加しました。9月2日から9月21日まで寄宿舎に滞在し、3週間慶熙大学で韓国語、韓国の文化について学びました。

【参加理由】

韓国の文化や音楽、ファッションに興味があったこともあり、大学生のうちに韓国に留学をしたいという思いがありました。短大生のため来年は編入試験や卒業研究で忙しくなることも考え、今年参加することを決めました。

【寄宿舎での生活】

慶熙大学の最寄り駅の回基（フェギ）駅の近隣にあるチャンドクアンという寄宿舎に滞在しました。2人1部屋で、トイレ、シャワーは部屋にありました。環境は部屋によって違いましたがWi-Fiもありました。とてもきれいだったという印象があります。基本的に同じ大学の人と同室でしたが、今年の韓国研修の参加者が奇数だったため、名簿で最後だった私は熊本の大学の人と同室でした。年も違い不安が大きかったのですが、3週間でたくさん話ができて、とても仲良くなることができました。

寄宿舎から大学までの道のりにコンビニやスーパー、パン屋、飲食店など様々なお店が並んでいてとても充実していました。食事に困ることはなかったです。安く多く食べることができるので、想像していたよりお金はかからなかったです。

【授業】

初日のクラス分けテストがあり、その結果でクラスが決まります。一切韓国語の読み書きができない人はテストの前に聞かれるのでそこで申請すれば、テストを受けずに初級1のビギナークラスに配属されます。自信がなくても少しでも韓国語の読み書きができる人はテストを受けてみたらいいと思います。テストは作文と面接でした。

私のクラスは、日本人14人、香港人1人でした。授業は文法、リーディング、リスニングの3つがありました。1コマ50分で1日4コマあり、9時から13時まででした。3週間の間に4回ある文化特講の日は16時まで、2回ある現地学習の日は17～18時まででした。文化特講では韓国の音楽、礼儀作法、遊び、ドラマについて楽しく学ぶことができました。授業は韓国語で行われます。私は同じクラスの中に同じ大学の人がいなかったのが不安でしたが、会話をする授業が多いのですぐにクラスの人と仲良くなりました。

【現地学習】

3週間の間に2回現地学習がありました。現地学習は大学から貸切のバスで行きまし

た。回目は博物館と N ソウルタワーへ行きました。2 回目はロッテワールドアクアリウムという水族館とロッテワールドアドベンチャーというアミューズメント施設に行きました。韓国の文化を学ぶことができ、クラスの人と仲を深められる機会でした。

【トウミ】

慶熙大学には『トウミ制度 (チューター)』があります。慶熙大学の韓国人学生と交流できる機会です。今年はトウミの希望者が少なかったようで複数の留学生に対して一人の韓国人学生が紹介され、1 度交流の機会がありました。

【自由時間】

土日は大学が休みですし、授業が終わるのが早いのでほとんど毎日出かけていました。文化特講がある日でも寄宿舎の門限が 24 時だったので夜遅くまで出かけました。ご飯を食べに行ったり、カフェに行ったり、服や化粧品を買いに行ったりと毎日本当に楽しかったです。ほとんどは留学中に仲良くなった人と遊びに行っていました。予定が合わなかった日は自分の行きたかった服屋やカフェ、ファッションのデザイン展などに一人で電車に乗って行きました。後悔しないように行きたいところには全部行きました。課題や復習も毎日やりました。

【まとめ】

この 3 週間は今まで生きてきて 1 番充実していると感じました。とても有意義な時間でしたし、たくさんの経験ができました。

3 週間でたくさんの人との繋がりができました。クラスはほとんどが日本人でしたが、様々な都道府県の人と知り合うことができました。

また、自分の興味や勉強の意欲が強まりました。韓国語があまりできなくても生活はできますが、韓国語がうまく発音できなかつたり、言いたいことが言えなかつたりともどかしく思うことがあったので、韓国語を勉強したいという気持ちが強まりました。また、韓国語だけでなく、英語の勉強も必要だと感じました。自分に足りないものがたくさんあったのでこの気持ちを忘れずに、勉強に励みたいと思います。また、ファッションの勉強の意欲も高まりました。たくさんのお店に入ったり、デザイン展に行ったり、韓国人のファッションをみてとても勉強になったし、たくさんのインスピレーションを得ました。

最後に、この研修を通して行動することや挑戦することの大切さを知りました。またそれによって得られるものがあることも知ることができました。とても良いプログラムで参加して本当に良かったと思っています。このレポートが韓国研修に参加される方、参加を検討されている方の参考に少しでもなればと思います。